

第2次取りまとめに関する OECD/NEA の国際レビューについて

核燃料サイクル開発機構

1. 背景

原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会報告書「高レベル放射性廃棄物の地層処分研究開発等の進め方について」（以下、専門部会報告書）により、「第2次取りまとめは国際的な専門家によるレビューを受けることとし、レビューの結果を報告書とともに国へ報告する」ことが求められている。このため核燃料サイクル開発機構においては経済協力開発機構／原子力機関（OECD/NEA）に国際レビューを依頼し、本年5月17日よりレビューチーム（International Peer Review Team：以下、IRT）による活動が開始された。IRTのメンバーは次の通りである。

1. Dr. Helmut Rothemeyer (座長)	ドイツ連邦放射線防護庁 (BfS)
2. Dr. Jesus Alonso	スペイン放射性廃棄物管理会社 (ENRESA)
3. Dr. Ken Dormuth	カナダ原子力公社 (AECL)
4. Dr. Ferruccio Gera	国際原子力機関 (IAEA)
5. Dr. Claudio Pescatore	経済協力開発機構／原子力機関 (OECD/NEA)
6. Dr. Lars Werme	スウェーデン核燃料廃棄物管理会社 (SKB)

2. レビューの進め方

レビューは総論レポートを対象とし、わが国における地層処分の技術的成立性についての論理展開が、国際的に認められている技術水準に照らして妥当なものであるかどうかを検討することを目的としている。

レビューを円滑に進めるため、分冊についても参考資料として提出することとした。レビューのための英語版は、平成11年4月21日に専門部会に報告した第2次取りまとめ第2ドラフトに基づいて以下の通り作成した。

総論レポート：H12 Project to Establish Technical Basis for HLW Disposal in Japan :

Overview Report

分冊1 : H12 Project to Establish Technical Basis for HLW Disposal in Japan :
Supporting Report 1 Geological Environment in Japan

分冊 2 : H12 Project to Establish Technical Basis for HLW Disposal in Japan :
Supporting Report 2 Repository Design and Engineering Technology

分冊 3 : H12 Project to Establish Technical Basis for HLW Disposal in Japan :
Supporting Report 3 Safety Assessment

レビューは以下のスケジュールで進められている。

平成 11 年 5 月 17 日 レビュー開始

第 2 次取りまとめ第 2 ドラフト総論レポート英語版
を IRT に送付

6 月 7 日 IRT キックオフ会議および分冊英語版の送付

8 月 22 日 レビューワークショップ

～ 27 日

10 月 15 日 IRT レビュー報告書